

さい 議会だより



佐井村高齢者生活福祉センター「あすなろ」利用者の皆さんと昼食（関連記事：14ページ）

12
月
定
例
会

歯科診療所の移転は… 3ページ

下水道の加入促進は… 6ページ

新たな地域活性化交付金… 8ページ

平成22年第4回定例会は、12月13日から15日までの3日間の会期で行なわれました。

村長から、補正予算案2件、条例案2件、その他の議案4件、教育委員の人事案2件の計10件、議員から議会に関する条例案など2件が提出され、それぞれ全会一致で原案どおり決しました。

各会計補正予算案を可決 歯科診療所欠損補助は817万円

会 計	補 正 前	補 正 額	補 正 後
一 般	25 億 6248 万 6 千円	4119 万 4 千円	26 億 368 万円
	※地域 ICT 人材育成・観光ナビシステム構築事業費 3611 万 4 千円 佐井歯科診療所移転改修事業費（設計委託料ほか） 112 万 5 千円 長後川河川維持業務 87 万 1 千円 佐井中学校スクールバス整備事業費 ▲673 万 4 千円 平成 21 年度佐井歯科診療所欠損補助 817 万 1 千円 など		
特 別 会 計	2 億 5417 万 4 千円	1302 万 3 千円	2 億 6719 万 7 千円
介 護 保 険	居宅介護サービス給付費の給付見込みによる増額 1302 万 3 千円		

※地域 ICT 人材育成・観光ナビシステム構築事業は国から不採択の通知があり、事業は執行されません。



宮川由実子氏
(大佐井)

教育委員 津田秀子氏が平成二十二年十一月三十日をもって辞職したため、後任として宮川由実子氏を教育委員に任命することに、全会一致で同意しました。

新 任
教育委員
宮川由実子さん



坂田美代子氏
(古佐井)

教育委員 坂田美代子氏の任期が平成二十二年十二月二十一日で満了するため、引き続き同氏を教育委員に任命することに、全会一致で同意しました。

再 任
教育委員
坂田美代子さん

佐井歯科診療所移転改修事業
住民の理解得て進めるべき

宮川委員

今回の補正予算案で、佐井歯科診療所を旧青い森信用金庫佐井支店へ移すことに伴う予算執行を留保した経緯は。

様々な事情から
開所間に合わず

村長

一部住民からの新聞への投稿、歯科診療所への誹謗中傷的投書、議会のいろいろな意見等また確認申請の手続きなどで、四月一日の開所に間に合わない。

このことから、新年度予算で改修費をみて議会に説明しながら、知恵をお借りし周辺地域の活性化を図り、喜ばれる施設にしたい思いで留保した。

移転で進めるのか

宮川委員

移転ということで進めていくのか、その開設時期は。

移転の気持ちは
変わらない

村長

あくまで移転したいという当初からの気持ちは変わ

らない。法的な許可を得るまで時間がかかるが、四月一日にこだわらず早い機会に移転したい。

いろいろな場合を
精査すべき

宮川委員

移転する場合と現診療所の一部利用する場合とを、精査する考えはないか。

精査し対処する

村長

移転の場合、一千万円以上はかかると思う。現歯科診療所もきちんと改修すれば、それ以上にかかると思うので両方精査する。

歯科以外の利用者
への配慮は

宮川委員

青い森信金の撤退に伴い、ＡＴＭ利用者が増加した。利用者等への利便性を考えた玄関口や出納室の一部開設等配慮する考えは。

皆が利用しやすい
施設にしたい

村長

それらを十分考慮し設計者にお願ひし、どちらも利

用しやすいような施設にしたい。

理解を得て
進めるべき

宮川委員

住民感情としていろいろな意見も出ている。理解を得て進めるべきではないか。

地区総代などから
意見を伺う

村長

各地区総代、行政連絡員等の意見を拝聴し、住民が利用しやすい施設にした

気軽に利用できる
施設になるか

宮川委員

住民が気軽に利用できる施設になるのか。

利便性が高まる

参事・住民福祉課長

患者のみならず、出納室の一部支所などの活用も考えると、より多くの住民の利便性が高まると思う。

12月定例会

陳情書の審査結果

件名	陳情者	審査結果	付託委員会
非核三原則の法制化を求める意見書採択について（陳情）	青森県 原爆被害者の会	採 択	総務文教 常任委員会
大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書	青森県医療労働 組合連合会	採 択	総務文教 常任委員会

東北新幹線全線開業 村の受け入れ体制は

川岸委員

東北新幹線全線開業により、村への観光客の増加による村の受入体制はどうか。また、東北新幹線全線開業効果活用支援事業という県の補助金も数年あると聞いているが、その利活用は。

おもてなしの心で
接する

村長

下北観光協議会で運行している「ぐるりんしもきた観光ルートバス」によるフリー客の獲得、県の補助を受け作成したDVD「市原悦子 青森県佐井村を行く」の首都圏へのテレビ放映及びDVDの配布や平成

二十五年度を目標とした首都圏からの体験型修学旅行生の受入れ等を考えている。観光客へ不愉快な思いをさせないよう「おもてなしの心」で接していきたい。

アルサス内へ
休憩室の提供を

川岸委員

観光バスの運転手及びガイドの休憩室をアルサス内で提供できないか。

来年度

取り組みたい

村長

観光客だけでなく、運転手及びガイドの体を癒すような場所の提供に来年度は

取り組みたい。

海峡ミュージアム
などを委託しては

川岸委員

現在、教育委員会で運営している海峡ミュージアム、三上家生家を観光協会や第三セクターに委託する考えはないか。

委託の方向で
進めたい

村長

来年度から委託の方向で教育委員会と詰めていきたい。



ルートバスでは下北各市町村の観光地を巡っている

福浦漁港整備工事 地域へ説明が必要

川畑委員

地元で、工事が遅れているのではないかと不安の声があるが。

工期内で完成する

産業建設課長

業者とは工期内完成ということで詰めているので、工期の延期は考えていない。

地元への説明が
必要では

川畑委員

地元へ説明すれば安心するのではないか。

十分説明する

産業建設課長

今定例会後、地元へ十分説明したい。

佐井村告知端末整備工事請負契約 請負業者と十分な連携を

工藤委員

変更契約に伴い、告知端末機と防災無線機の連携を行なうための工事費が必要になったとのことだが、当初の段階で連携して行なうことは決まっていたはずだと思うが。

工事は必要ないと説明だった

参事・総務課長

設計時、請負業者からは連携のための機器は必要ないという説明を受けていたが、その後、請負業者と防災無線関係業者が協議していく中でその機器が必要であるということがわかり、今回の変更契約に至った。

話し合いが不十分では

工藤委員

請負業者と村との話し合いが不十分だったのではないかな。

十分な認識がなかった

参事・総務課長

設計段階、協議の段階でも十分な認識がなかった。これまでも請負業者に対しては説明が不十分という

ことについて注意喚起してきたが、このようなことになり村の責任もある。

請負業者へのペナルティは

工藤委員

請負業者に対してペナルティは考えているか。

お互いに責任あり考えていない

参事・総務課長

我々職員の勉強不足でもあり、村、請負業者ともに責任あるということで、今回はペナルティは考えていない。

減少していく青年層

青年活動の推進を

川畑委員

教育委員会で策定している、「佐井村教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書」では、子ども会、芸能保存団体、婦人会などの活動はされているが、青年活動に関する事項が出ていないことに危惧しているが。

地区公民館事業

として活動予定

教育次長

昔は青年団活動があったが、過疎化により青年層が減少し自然消滅してきた。

しかし、各地区にいる青年層は、郷土芸能や地区の行事に積極的に参加していると認識しており、今後は地区公民館事業の中での活動を考えていきたい。

また、佐井村全体でまとまった形で活動していける状況を模索していきたい。



伝統芸能を引き継いでいる若者達（牛滝三味線踊り）



川畑勲夫議員

依然として低い加入率

生活排水のみの加入を認めよ

村長——下水道法の規定によりできない

川畑議員

公共下水道の加入促進のため、生活排水だけの加入ができないか。

生活排水だけの加入はできない

村長

下水道法の規定により、供用開始後三年以内に水洗トイレに改造し、下水道に流入させなければならないことになっており、生活排水だけの加入はできない。

海へ流れる生活排水も問題では

川畑議員

当村は漁業の村である。海に流れる生活排水は大きな課題である。整合性がないのではないか。

思いは十分

理解している

村長

思いはわかるが法律は遵守しなければならない。

特例として

認められないか

川畑議員

強い訴え方をして、特例として認めてもらうような

熱意があってもいいのではないか。

県へ実情を

伝えたい

村長

佐井村だけ特別扱いはできないと思うが、機会があればそのような意見があったことを県へ伝えたい。

下水道加入率は

川畑議員

現時点での加入率はどうか。

村全体で31・9%

村長

十一月三十日現在で、矢越地区二十六・五%、大佐井地区二十一・六%、古佐井地区十六・五%、公共下水道全体で二十一・一%、漁業集落排水処理施設を含めた村全体では三十一・九%である。

加入促進への

取り組みは

川畑議員

加入が進まないのは改造費のねん出が大きいと考えるが、それに対しどのような取り組みなのか。



きれいな海は漁業者にとって一番の願いである

改造費などの

課題検討する

村長

改造費には最低でも八十万円から百万円程かかると聞いており、村が融資するとすれば、今の財政の中でできるのかできないのか含め、検討する課題である。



イベント時には職員による相談コーナーを設けている

長年続く貸付金の滞納

早期解決への今後の対応は

村長——(株)カレントと村との協議を続けていく

川畑議員

株式会社カレントの農林漁業振興事業資金貸付金の返済状況と業務実績はどうか、また、今後どのように対応していくのか。

貸付金残高 443万円

村長

十一月三十日現在での残額は四百四十三万円である。

村では平成十四年に誘致企業の認定を取り消している。また、会社は平成十七年五月二十四日にむつ税務署に休業届を提出し、今日まで営業されていない。

現在、村では毎年二回、返済計画の提出と会社再開に向けた協議をしているが、会社からは製造体制の準備はしているものの、工場再開には至っていないという報告を受けている。

会社再開の用途は

川畑議員

休業状態が続いており、再開する目的が立たないということか。

用途は

立っていない

村長

そのように理解すべきだと思っている。

税金等の

納付状況は

川畑議員

土地使用料・固定資産税等の納付状況はどのようになっているか。また、建物の所有権・所有者は協議の中ではっきりしたのか。

固定資産税で

未納ある

参事・総務課長

土地使用料は平成二十一年度分まで納められている。

固定資産税については、平成十八年度、十九年度、二十一年度分が全額未納、平成二十年度、二十二年度分が一部納められ、現在九万六千二百円が未納となっている。

建物の所有者は株式会社カレントである。

問題の早期解決に向けた考えは

川畑議員

この問題は十年以上になるが、今後何か打つ手を考えているか。

村との協議を

続けていく

村長

会社と役場の担当者とは協議しているが、いろいろな事情があるようで、状況が良くなれば滞納が解消されるものと期待したい。

村長も

話し合うべき

川畑議員

担当者ばかりでなく、村長も一度会って話し合うべきではないか。

早めに

話し合いたい

村長

遅くならないうちに話し合いたい。

議会報告会を開催しています

議会では、議会活動の内容を報告し、住民の皆さんに議会活動を身近に感じていただくため、『議会報告会』を1月下旬より各地区で開催しています。

皆さんから議会活動や村政に対する意見や提言などをいただく場を設けますので多数の参加をお願いします。

○2月の開催場所

2月 2日 (水)	磯谷地区漁民研修センター	午後4時
2月 7日 (月)	矢越地区生活改善センター	午後6時30分
2月 8日 (火)	川田地区生活改善センター	午後6時30分
2月 9日 (水)	原田地区生活改善センター	午後6時30分
2月10日 (木)	アルサス(会議室)	午後6時30分



追跡質問

新たな地域活性化交付金

地区要望へ積極的な活用を

竹内議員

三月定例会で、国の臨時交付金を地区要望に充ててくべきと質問したが、八割方が公共施設の改修に使われた。

今回、また国の補正で地域活性化交付金が盛り込まれる予定と聞いたが、地域住民のニーズに應えるためにも利用できないか。

十分検討協議し
計画する

参事・総務課長

今回の国の補正で、自治体向けの二つの交付金が新たに創設された。十二月の庁議では、各課に対し喫緊に対応しなければならぬもの、更には先送りされているもの、地区からの要望があるもの等十分検討・協議し、計画を計上するよう伝えている。

現在緊急を要する

事業は

竹内議員

村長は三月定例会での質問の答弁で、緊急を要する事業を優先すると言っていたが、今、何か緊急を要する事業はあるのか。

各地区から

要望ある

村長

各地区から色々な要望があり、財政的に大変厳しい状況で着手できていない事業を、この交付金を利用してながら地域の皆さんの要望に極力応えられるよう考えている。

地元業者優先の交付金ではないのか

竹内議員

地域活性化交付金は地元の経済・活性化を図るため地元業者を優先して使うものと認識していたが、今回のアルサス改修事業の入札



今年度はアルサス展望室軒天の改修工事等が行なわれている

に村外の業者も入っている
とのことだが。

指名せざるを
得ない場合もある

村長

できるだけ地元業者を優先したいと考えているが、ものによってはできないものもある。地元業者が落札し下請けにということもわかるが、場合によっては専門業者を指名せざるを得ない場合もあることをご理解いただきたい。

新たに創設された地域活性化交付金

〇きめ細かな交付金

観光地における電線地中化等、地域の活性化ニーズに応じて実施するきめ細かな事業に対する交付金。

村への交付限度額は5,387万5,000円

〇住民生活に光をそそぐ交付金

これまで住民生活にとって大事な分野でありながら、光が十分に当てられてこなかった分野（地方消費者行政、DV対策・自殺予防等の弱者対策・自立支援など）に対する交付金。

村への交付限度額は847万3,000円

追跡質問

第四次佐井村総合計画

具体的な検証内容は

坂井議員

六月定例会で、第四次佐井村総合計画を具現化するための取り組みについて質問したところ、五年ごとに検証し具現化に努めるということだった。具体的に誰がどのように検証し、具現化に努めるのか。

各年度ごとに

検証する

参事・総務課長

前期・後期五年ごとに見直しを行なうが、実質一年ごとに検証し見直しを図っていききたい。

今まで計画に携わってきた委員の方々に検証してもらう体制を作り、各年度ごとの計画の見直しを図っていききたい。

坂井議員

リーダーとなる
人材の発掘を

計画された各事業の分野ごとに、リーダーシップを発揮できるような人材を発掘し、そのリーダーの基に計画を実施すれば具現化できるのではないかと。

村長

今回の委員のメンバーから、同様の提言を受けている。地域のしがらみにはまらず、色々なサイドから提言をしてきている。真摯に受け止めながら進めていきたい。

真摯に受け止め
進める



審議会では積極的に意見が飛び交っている

追跡質問

医療廃棄物処理施設

現在の進展状況は

宮川議員

六月定例会で、財政確保のための新たな事業として、医療廃棄物処理施設を検討しているとの答弁だったが、その後の経過は。

状況がわかり次第
説明する

村長

処理施設については、助言を頂いているアドバイザーが体調を崩してしまい、色づけ、肉付けするのに少し時間がかかるということなので、わかり次第審議会に説明し、知恵をお借りし進めてまいりたい。

宮川議員

村の関与があれば
進むのでは

民設民営という考えでも村の関与があれば、具体的に進むのではないかと。

十分協議し進める

村長

例えば、土地を村が提供するなどの関与を含め、関係者や議会とも十分協議しながら進めたい。



6月には村と議会が視察を行なった

追跡質問

告知端末機のシステム内容

24時間システム導入は可能か

工藤議員

九月定例会で、告知端末機への二十四時間見守りシステムの導入について質問したが、その後消防等と協議したのか。

協議会で提言した

間山副参事

十一月に協議会を開催し、提言した。

24時間見守りシステムの導入は

工藤議員

今回の告知端末機の導入にあたっては、見守りシステムの導入はできないということか。

現状では難しい

間山副参事

現状での予算等では難しいためできない。

今回は、一日に一回、「元気です。」という意味のボタンをタッチしてもらい、それを役場なり社会福祉協議会が確認するというシステムになる予定である。

わかりやすい

操作説明会を

工藤議員

一月中旬から操作説明会を開催することだが、お年寄りでも十分にわかる、誰でも簡単にすぐ使えるような説明が必要になってくると思うが。

そのように

努めたい

村長

それが一番大事である。そのように努めていきたい。



全世帯へ配置される告知端末機(左)と小型画像情報端末機(右)

議会活性化視察研修

12月16日、宮城県川崎町議会議員並びに総務課長の一行6名が視察研修で来村されました。

川崎町議会の視察の目的は、当村議会に取り入れている「追跡質問」が全国的にも例がなく、昨年11月、河北新報に掲載されたことにより、その内容把握についてです。

川崎町議会は、すでに議会基本条例も制定しており議会活性化の取り組みについて活発な意見交換が行われ、当村議会にとっても実りある研修となりました。



お互いに議会活性化についての意見交換をしました

審議した主な議案

◎専決処分した事項の報告について

○佐井村地域情報通信基盤整備工事請負契約の一部変更契約

変更理由：設計書及び関連調書間での使用数量にかい離がある点について精査した結果、不具合があったことから数量の変更が必要なため。513万7650円を減額。

○佐井地区（福浦漁港）地域水産物供給基盤整備工事請負契約の一部変更契約

変更理由：消波工ブロック製作ヤードを佐井漁港から大間港に変更したことから、ブロックの据付運搬距離の変更と付属工の防舷材を追加する。また、船揚場の床揚場の床掘土砂の運搬処理を増工するため。1142万8200円を増額。

○佐井村告知端末整備工事請負契約の一部変更契約

変更理由：工事終了に伴う数量の確定、設計見直しによる数量の変更及び告知端末と防災無線機器との連携を行なうための工事費が必要なため。740万2500円を増額。

◎佐井村乳幼児・児童医療費給付条例の一部を改正する条例

◎佐井村ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例

乳幼児・児童及びひとり親家庭等医療費の給付方法を現物給付に変更し、病院での支払いが不要となることにより、請求する保護者の負担軽減と事務効率の向上を図るため改正する。条例適用は平成23年4月1日から。

◎佐井村過疎地域自立促進計画の策定について

平成12年に施行された過疎地域自立促進特別措置法が改正され、6年間延長されたことに基づき、新たな計画を策定する。

議員提出議案

◎佐井村議会改革特別委員会を設置する決議

住民の意思を代表する議会として、住民意識の高揚や行政改革に対応するため、議会の機能を充実発展させていく必要があるとの認識のもと、議会改革及び議会機能の充実や議会活性化の検討を行なうため、佐井村議会改革特別委員会を設置することとした。

◎佐井村議会会議規則の一部を改正する規則

これまで、総括審査において、執行部から提案された議案等に関する質問だけしかできなかったものを、規則を改正し、執行部と十分協議し前向きで建設的な意見、発言について、議案以外でも質問ができることとした。

第3回臨時会（10月20日）

【可決した議案】

平成22年度佐井村一般会計補正予算（第6号）……2017万円の増額

- ・国税連携関連システムに係る業務委託料（472万5千円）
- ・大雨による道路災害維持補修工事費、道路橋梁災害復旧費、河川災害復旧費（1203万円）など

第4回臨時会（11月25日）

【可決した議案】

①佐井村議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

②佐井村特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例

③教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例

④職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

以上4案は青森県人事委員会の勧告に基づく改正

どもたち

佐井中学校②



平成22年9月2日 修学旅行 東京・両国のホテル前にて（KONISHIKIさんと一緒に）

3年生 卒業生から 在校生へ

池田潤

一年生は二年生のサポート、二年生はリーダーになるので頑張ってください。

奥本早季

佐井中学校を今まで以上にパワーアップさせていって、たくさん盛り上げてください。

石塚了崇

在校生のみなさんには色々な行事でお世話になりました。来年も頑張ってください。

後藤千紗

一年間ついてきてくれてありがとう。今年は新役員を中心に頑張ってください。

内田靖崇

一年生は先輩となり二年生はリーダーとなるので先輩の見本となるように頑張ってください。

島野真由

あいさつと合唱という伝統と、部活を盛り上げられるように、頑張ってください。

佐藤祐希

二年生は先頭に立ち一年生は先輩になるので、しっかりと自覚を持って頑張ってください。

高橋愛未

四月から新一年生の先輩になって、色々リードしたり大変だと思いうけど頑張ってください。

館脇勇助

四月から先輩になるので先輩を引っ張っていきけるように頑張ってください。

田中佳子

四月には新二、三年生になります。勉強や部活動、合唱など頑張ってください。

長島楓

昨年よりも良い学校生活ができるように、力を合わせて頑張ってください。

畠中隆二

一、二年の野球部へ今年こそ中体連で県大会に行けるように頑張ってください。

東出瑞穂

何でも精一杯取り組むと必ず結果がついてくるので、ねばり強く頑張ってください。

福田真桜

今の佐井中学校より盛り上がるように頑張ってください。

松谷美羽

勉強や部活など、いろんな事で活躍してください。中学校生活、楽しんでね。

宮川優梨

みんなと過ごした日々は楽しく最高の思い出です。四月から立派な先輩になってください。

～未来への財産～ むらのこ 佐井小学校①



佐井小学校 6年生 学校にて

6年生 中学校生活への 抱負

船越一輝

僕は中学校に行ったら野球部に入る。先輩と一緒にプレーした仲間なので楽しくやりたい。

細間俊介

算数が苦手なので、中学校ではコツコツがんばって克服したい。

横浜彦太

僕は小学校でいい成績ではなかったの、中学校に行ったらもっとがんばりたい。

吉田脩道

中学では、家でも勉強をして、部活と勉強を両立したい。

館脇心

中学でがんばることは部活。走ったりするのはきついけどめげずにがんばりたい。

東出 海

中学校で頑張ることは部活。野球部でエラーをしないように練習をがんばりたい。

宮野栄一郎

小学校では卓球をがんばった。中学校ではもっと卓球の練習と勉強をがんばりたい。

佐藤雅希

夏の団体連三連覇を目ざしてがんばる。勉強もしっかりやる。

奥川隆太

小学校ではヒットが少なすぎたので、中学校ではたくさん打ちたい。

紀伊綾香

中学校では、難しくなる勉強についていけるように、一人勉強をたくさんしたい。

館脇奈津美

小学校では算数・理科が苦手だったので、中学校ではきちんと復習して覚えたい。

須藤流那

中学校は、勉強も部活も忙しくなるけれど、がんばってついていくようにする。

熊谷彩夏

中学校では教科が増えるので、ついていけるようがんばりたい。

竹内 奏

中学校ではいっしょに勉強のハードルが高くなるので、家庭学習をしっかりとしたい。

竹内彩香

中学校では、勉強も部活も努力してがんばっていききたい。

中村樹美佳

中学校では、勉強が難しくなると思うのでがんばりたい。

宮野加奈子

中学校では、積極的に行動し、勉強も部活動もがんばりたい。

西谷眞奈

中学校では部活動の回数が多くなるので勉強と部活が両立できるようにがんばりたい。

大畑礼美

中学校では小学校で学んだことを生かして部活も勉強も一生懸命がんばりたい。

次号より佐井小学校の皆さんを二号にわたり掲載します。

レポート

総務文教・産業建設合同常任委員会活動

産業建設常任委員会 委員長 宮川 尚

①ニホンザル巡視員との懇談会

十一月二十五日、総務文教・産業建設合同常任委員会を開催し、ニホンザル巡視員との懇談会を実施した。

村では、平成二十二年度ニホンザル巡視員を十四名配置し、ニホンザルの出没状況、畑作被害状況や被害防止対策に当たっている。

懇談会には巡視員四名が出席し、今期を振り返って「耕作者の理解がなかなか得られない、サルが増え過ぎ追いつけは難しい」などの意見が出され、被害を少しでも減らす努力はしているものの、手が回らない、住民からの苦情が多い等私達が思っている以上にハードな業務であることが認識された。

またニホンザルは日の出と共に畑に出没し被害をもたらしているが、早朝七時



群の数が年々増え巡視員も手が回らない状態

前に花火を打ち上げるのは、騒音のため規制されているとも伺った。耕作していない方の意見も聞き、両者納得のいく方策も必要である。

村には現在七十九頭の捕獲割当があるが、ニホンザルが年々増え過ぎている現状から、村民生活を脅かしており、今以上の捕獲数を

認めてもらうことや群れ捕獲をしないことには、抜本的解決に至らないと思う。

当村において、ニホンザル被害が訴えられてから、約二十年にもなる。このままでは人口は減るがサルだけは増え、「サルの村」になるかと危惧している。差し迫った緊急課題である。

②高齢者生活福祉センターあすなろでの昼食会

十二月定例会中最終日の十二月十五日、「あすなろ」において利用者の皆さんと

と共に昼食をいただいた。利用者のテーブルに私達も別れて座り、ちらし寿司をメインにバラエティ豊かなメニューの食事をしながら、様々な声を聞くことができた。

当日は、原田から長後までの利用者が二十名ほどであり、「一人暮らしだが、ここに来ると皆と会えてうれしい、美味しいものが食べられる。」など社会福祉協議会に感謝している声が大半であった。

村は現在、高齢化率が三十五%を超え、県下でも上位にランクされており、一人暮らし世帯が増えている。「あすなろ」を利用することによって、ゲームやカ



あすなろでの利用を楽しみにしているとの声が多かった

ラオケ、入浴、食事を楽しみ、他の利用者やスタッフとの交流で刺激を得て、認知症などの進行を緩和させる効果があるようだ。

今後このような機会を持ちたいと思う。

最後に社協職員から、「高齢者の方々が体の自由が利かない方々がデイサービスに来るのを楽しみにし